

令和元年度岡山県農林水産総合センター水産研究所 試験研究課題評価票

<事後評価>

- 総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	元-事後-1						
課題名	ノリ新養殖品種の開発研究						
課題の概要	近年、ノリ養殖業において高水温の影響による生育不良や栄養塩不足に伴う色落ち被害が大きな問題となっている。そこで、養殖漁場から採取したノリ葉体を基に選抜育種を行い、高水温下でも高生長を示す品種、低栄養塩下でも色落ちしにくいノリ品種を開発する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	1 人	3 人	2 人	0 人	2. 8
	有効性 (効果)	0 人	2 人	3 人	1 人	0 人	3. 2
	有効性 (目的以外の成果)	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	効率性・妥当性 (費用対効果)	0 人	1 人	5 人	0 人	0 人	3. 2
	効率性・妥当性 (計画)	0 人	0 人	5 人	1 人	0 人	2. 8
	成果の活用・発展性	1 人	2 人	1 人	2 人	0 人	3. 3
	総合評価	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・葉長だけでなく葉幅・葉厚(形態異常を除く)・密度等を考慮した判断指標が望ましい。 ・即効性には不十分な成果であるが、手法の有効性は一定程度確認できた。研究の継続とさらなる発展が望まれる。 ・研究自体が興味深く、今後実用化に繋がることを期待する。 ・ノリ養殖は環境の影響を受けやすく、株の実用化までには時間が掛かるので、株の培養スピードを速める方策を考えたらどうか。 ・ノリの栄養的優位部分、調理法の開発など購買意欲に繋がるような情報発信を漁業者、消費者、調理関係者等と協働して行うこともノリ養殖業の活性化に繋がるのではないか。 ・室内実験で得られた成果を現場で十分検証できなかった点が残念。後継研究で現場検証されたい。将来的には、高水温、低栄養のいずれにも耐性を持つ品種の選抜育種・選抜が生産現場では求められるのではないか。 ・開発研究の段階で十分な成果が得られたので、生産現場への早急な普及が必要である。研究体制を確立し、確実に成果を上げられたい。 ・海水温の上昇が今後も続くと予想され、早期にノリ網の張込みができるよう、高水温耐性株の実用化に注力されたい。 						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す実例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。